

学校から家に帰宅すると、お風呂の脱衣所の方から物音が聞こえた。
僕はゆつくりと、そこへ近づき少しドアを開けて、そこを覗いた。
そこには、八百屋の父とイオリ模型店の女店主である「イオリシンコ」さんがいた。

野菜の代金
2000円は
サービスさせて
もらいますよ

は、はい

ありがとう
ございます……

あまり拭かなくても
大丈夫ですよ
ワシのも汚れてますから

ええ、でも
今日は、少し
汚れてしまっ
て……

やだ……大きい

その時の僕は、二人が何をやっているのかわからずに
手に持っていたスマホで、三人の様子を録画した……



確認だが

野菜1000円分の
サービス(無料提供)で
1発で良いんだね?

は、はい

な、中出しでも
いいのかな?

今日は
安全日なので
大丈夫ですけど...

町内では
一番大きいかも...

こんなので
中出しされたら...

さっき肉屋さんにも
中出しされちゃって...
中が汚れてるんですが
それでも良ければ...

のけ

私は構わんが…

今日、肉屋には
幾らサービス
してもらったん
ですか？

今日は
5000円ほど…

ほう！5000円分も！
やはり独身だと
サービスも違いますな！

肉屋め！
5回も
したのか

ちよっと
溜まってたらしくて…
全部中出し
されちゃいました。



イオリ模型店が
そこまで経営が
苦しいとは……

家も出来るだけ
支援させて
もらいますよ

ありがとう
ございます……

家内に怪しまれるので
早速、入れさせて
貰いますよ……

ニュッ

ニュッ

ニュッ

それから、お父さんは、リンコさんのお尻にオチンチンを突き刺している様だった。
何度かおちんちんから白い液体が出てきていた。

リンコさんは、聞いたことの無い声を上げていて、少し怖かった。
僕は扉の向こうで何をやっているのかわからなかったが、その行為を見て興奮していた。

高校生のおにいちちゃんなら、お父さん達が何をやっているのか、知っているかもしれない。
今度、ビデオを見せて聞いてみようと思う。

今晚は、リンコさんの家に
野菜を宅配してやるから
勝手口を開けていてくれよ！

一万円分ぐらいの
野菜をサービス
してあげるからな！

あー

あー

は、はい♥
まってますからあ

ズン

ズン

ズン

ズン

深夜2時……

八百屋はいつも野菜の配達に使う勝手口から静かに家に侵入し、リンコの眠る寝室へやってきた。旦那が仕事で海外に行っているため、その大きなベッドにはリンコが一人眠っていた。

この家には、リンコの他に、息子が一人いるため、八百屋は、気づかれないように物音を立てずにリンコに近づいた。

魚屋の言う通り
本当に入ってこれたぜ

ギシ…ギシ…

八百屋は、リンコに気づかれぬように、最新の注意を払いながら、リンコを覆う毛布をはぎ取り、その蒸れた体を外気に露出させた。リンコは火照った体を自分で慰めていたのか、体は汗ばみ、股間には染みが出来ていた。

シマア

はあ…はあ…
昼間はゆっくり
見れなかったが
凄い体してるぜ

毛布をめくった瞬間に、八百屋の鼻孔に、リンコの匂いが絡みついた。その熟した体からは、交尾を求めるメスの匂いがしていた。旦那が海外へ出張して、満たせない欲求は、無意識に男を求めていた。そして、八百屋もその匂いを嗅ぎ、色情を抑えきれなくなっていた。

八百屋はたまらずに、リンコのパンティを下にズリ下げる。
そのパンティに引きずられるように、性器から精子が流れ出てくる。
八百屋が射精した精液かとも思ったが、それにしても、量が多かった。
このリンコの発汗が、自慰によるものではなく
他の男とセックスしていたからだと気が付いた。

自分が狙っていた女が、他の男に先に寝取られていた時の焦燥。
八百屋は悔しさに顔をゆがめていたが、ここまで来て
何もせずに帰るわけにはいかなかった。

ま、まさか
他の男の
精液か？

トロ

ズリ

ハア

ハア

ん…



八百屋は、りんこが起きないように細心の注意を払いながら、ネグリジェを脱がし生まれたままの姿にすると、リンコの股をゆっくりと開いた。
八百屋は、先ほどまで、他の男のモノを加え込んでいたであろうリンコの性器に舌を伸ばした。
男の匂いと、リンコの匂いが入り混じるその匂いを嗅ぎながら、八百屋はリンコの性器から男の精子を舐めとった。

リンコは寝ていたが、その性器への刺激に、無意識に体を反応させていた。
性器からは、止めどなく愛液を垂れ流し、八百屋の顔面に潮を吹きつけていた……



八百屋は、他の男の精子をすべて取り除いたおまんこに、今度は自分のモノを挿入する。
リンコが寝ている事はお構いなしに、上にのしかかると、激しく腰を振り、肉棒を打ち付ける。
そして、腰を振りながら一番奥に肉棒を入れると、何発も射精したのだった。

リンコ！

リンコ！

ゴッゴッ

ゴッゴッ

あ、

あ、

あ、

その夫婦の愛の巣で、リンコの中に自分の子種を
注ぎ込む快樂に、男は酔いしれていた。
リンコを旦那から奪い取り、自分の女である事を
主張するために、マーキングするのだった……

八百屋は、セックスの間、リンコに自分との印を残すため、体中に齒型とキスマークをつけた。

八百屋が帰宅すると、他の男が次々とリンコの部屋へ夜這いをしにやってくるのだった。



今や、商品販売はネットが主流になり、子供達の遊びもTVゲームがメインになりつつあり、イオリ模型店の経営状況も厳しかった。

夫は海外を飛び回り、その模型店の経営は、妻である「イオリリン子」が行っていた。

その模型店は、お客のいない時間の方が多く、その営業時間にやってくるのは、同じ商店街の男店主たちだ。男達は、商品の配達の手いでに、イオリ模型店に寄ると、「お金を払う」か、「自分の店の商品」を渡し、リン子の体を買うのだった。

リン子さん！
もう入れて
良いだろ？

スリ

スリ

待って

お客さんが来たから
今は、止めてください

ゆっくり
商品を選んで
下さいね！

あっあら！
いらっしやい！！



イオリ模型店の裏商品は、「大人のおもちゃ」
リン子の体を使い、大人のおもちゃを実際に使いながら、セックスを行う。

ああ!! 駄目!
みんなが
こっち見てます!!

へへへ
何やってるか
なんか
わからねえよ

奥さんはオナホ
なんだから
しっかり
締めてくれよ!

あッ

あッ

ビィィィィ

ビィィィィ

リ、リン子
おばちゃんの
セックス…

すっげえ…

セックスだ…



八百屋の店主は、見られながらすることに興奮する。
いつも客の前で、リン子の中に精子を受精するのだった。



うわ!
中だした

すっげえ...

種付け
セックスだ...

ほら
次はこっちだぞ

せめて
お客さんが
帰った後に
してください……

その後、八百屋とリン子は、トイレでアナルセックスを行った……

ドロ……

シメア

ズ
ン
ズ
ン